



本質的と歴史的

小松氏の近著 教授中野清一

ある文藝批評が述べた通り、本質的と歴史的の区別は、本質的は本質そのものを、歴史的は歴史そのものを指す。...

大西教授の生涯と業績

南亮三郎

大西教授の生涯と業績。大西教授は、東京大学経済学部の教授として、日本の経済学に多大の貢献をした。...

轉換期にある 信託界

田制弘

轉換期にある信託界。信託業界は、戦後の経済環境の変化に伴って、大きな轉換期を迎えている。...

原稿募集

緑ヶ丘 第六十八號締切 十二月二十日 編集部

原稿募集。本誌「緑ヶ丘」は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

本誌「緑ヶ丘」の発行所情報。編集者：小松氏、発行所：東京市...

本誌「緑ヶ丘」の編集方針と読者へのメッセージ。本誌は、読者の生活と密着した記事を掲載することを旨としています。...

原稿募集の続編。読者の原稿を歓迎し、採録されることを願っています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

原稿募集の続編。本誌は、読者の意見を歓迎し、原稿を募集しています。...

受難の學生群

思想悪化の十字架を背ひ 過渡期の流れに

受難の學生群の過渡期は、その苦悶と苦悶のうちに、思想の悪化を起し、その結果として、過渡期の流れに背を向かせるものがある。これは、受難の學生群の過渡期の最も重要な特徴である。

受難の學生群は、その苦悶と苦悶のうちに、思想の悪化を起し、その結果として、過渡期の流れに背を向かせるものがある。これは、受難の學生群の過渡期の最も重要な特徴である。

學生思想問題に 當局の取締嚴重

學生思想問題に、當局の取締嚴重である。これは、學生思想の悪化を防止するためである。

學生思想問題に、當局の取締嚴重である。これは、學生思想の悪化を防止するためである。

卒業生の喜ぶ 老舗小樽高商 古の暖簾物云々

卒業生の喜ぶ、老舗小樽高商、古の暖簾物云々。これは、卒業生の喜びと老舗の歴史を語る記事である。

卒業生の喜ぶ、老舗小樽高商、古の暖簾物云々。これは、卒業生の喜びと老舗の歴史を語る記事である。

赤禍學生救済機關 國民精神文化研究所

赤禍學生救済機關、國民精神文化研究所。これは、赤禍に苦しむ學生を救済するための機関である。

赤禍學生救済機關、國民精神文化研究所。これは、赤禍に苦しむ學生を救済するための機関である。

十一月十日 非公式理事會

十一月十日、非公式理事會。これは、十一月十日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

十一月十日、非公式理事會。これは、十一月十日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

問題の校友會改革案 會合を重ねる 其の後の経過

問題の校友會改革案、會合を重ねる、其の後の経過。これは、校友會の改革案に関する経過を語る記事である。

問題の校友會改革案、會合を重ねる、其の後の経過。これは、校友會の改革案に関する経過を語る記事である。

十一月十六日 非公式理事會

十一月十六日、非公式理事會。これは、十一月十六日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

十一月十六日、非公式理事會。これは、十一月十六日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

あつきの無かつた 校友會臨時總會 外語劇の入場料を 一律二十銭に値上

あつきの無かつた、校友會臨時總會、外語劇の入場料を一律二十銭に値上。これは、校友會臨時總會の決定に関する記事である。

あつきの無かつた、校友會臨時總會、外語劇の入場料を一律二十銭に値上。これは、校友會臨時總會の決定に関する記事である。

學園の動向 改正問題に對する 一、二年の情勢?

學園の動向、改正問題に對する、一、二年の情勢?。これは、學園の動向に関する記事である。

學園の動向、改正問題に對する、一、二年の情勢?。これは、學園の動向に関する記事である。

研究室 南教授ゼミナール 指導 確呼たる 歴史觀の把握

研究室、南教授ゼミナール、指導、確呼たる、歴史觀の把握。これは、南教授のゼミナールに関する記事である。

研究室、南教授ゼミナール、指導、確呼たる、歴史觀の把握。これは、南教授のゼミナールに関する記事である。

野球部の所信を問ふ 二年A組 出場選手一同

野球部の所信を問ふ、二年A組、出場選手一同。これは、野球部の選手に関する記事である。

野球部の所信を問ふ、二年A組、出場選手一同。これは、野球部の選手に関する記事である。

投稿欄に就いて

投稿欄に就いて。これは、投稿欄に関する記事である。

投稿欄に就いて。これは、投稿欄に関する記事である。



野球部の所信を問ふ

野球部の所信を問ふ。これは、野球部の選手に関する記事である。

野球部の所信を問ふ。これは、野球部の選手に関する記事である。

小樽高商學生諸氏に限り 再大西經濟學全集 特價提供

大西全集申込所 校内共濟部賣店

右につき本校出身者諸兄へ謹告

大西全集申込所 校内共濟部賣店

右につき本校出身者諸兄へ謹告

大西全集申込所 校内共濟部賣店

右につき本校出身者諸兄へ謹告

大西全集申込所 校内共濟部賣店

右につき本校出身者諸兄へ謹告

大西全集申込所 校内共濟部賣店

右につき本校出身者諸兄へ謹告

種別	學生處分數	學生處分數	學生處分數	學生處分數	學生處分數
第一年度	135	135	135	135	135
第二年度	135	135	135	135	135
第三年度	135	135	135	135	135
第四年度	135	135	135	135	135
合計	540	540	540	540	540

學生處分數 (最近四十年) 年度別

第一年度 135 第二年度 135 第三年度 135 第四年度 135 合計 540

卒業生の喜ぶ 老舗小樽高商 古の暖簾物云々

卒業生の喜びと老舗の歴史を語る記事である。

赤禍學生救済機關 國民精神文化研究所

赤禍に苦しむ學生を救済するための機関である。

十一月十日 非公式理事會

十一月十日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

問題の校友會改革案 會合を重ねる 其の後の経過

校友會の改革案に関する経過を語る記事である。

十一月十六日 非公式理事會

十一月十六日に開催された非公式の理事會に関する記事である。

あつきの無かつた 校友會臨時總會 外語劇の入場料を 一律二十銭に値上

校友會臨時總會の決定に関する記事である。

學園の動向 改正問題に對する 一、二年の情勢?

學園の動向に関する記事である。

研究室 南教授ゼミナール 指導 確呼たる 歴史觀の把握

南教授のゼミナールに関する記事である。

野球部の所信を問ふ 二年A組 出場選手一同

野球部の選手に関する記事である。

投稿欄に就いて

投稿欄に関する記事である。

鮮やかに書かれたバツク

感激驚讚を豫想される當日

目録に迫られる外語劇大會

本日の外語劇大會は、鮮やかに書かれたバツクを、感激驚讚を豫想される當日に、目録に迫られる外語劇大會として、開かれ、大成功を収めた。...

二年英語部 オウノイル原作「新舞臺」

二年英語部は、オウノイル原作「新舞臺」を、二年生の演劇部として、演じた。...

三年英語部 マイヤール原作「悔ひ出」

三年英語部は、マイヤール原作「悔ひ出」を、三年生の演劇部として、演じた。...

四年英語部 アントロフ原作「幽霊水車」

四年英語部は、アントロフ原作「幽霊水車」を、四年生の演劇部として、演じた。...

五年英語部 ヴィンセント原作「最後の日」

五年英語部は、ヴィンセント原作「最後の日」を、五年生の演劇部として、演じた。...

六年英語部 ロンソン原作「狂」

六年英語部は、ロンソン原作「狂」を、六年生の演劇部として、演じた。...

七年英語部 戸島文原作「流」

七年英語部は、戸島文原作「流」を、七年生の演劇部として、演じた。...

八年英語部 山本正太郎原作「流」

八年英語部は、山本正太郎原作「流」を、八年生の演劇部として、演じた。...

九年英語部 山本正太郎原作「流」

九年英語部は、山本正太郎原作「流」を、九年生の演劇部として、演じた。...

十年英語部 山本正太郎原作「流」

十年英語部は、山本正太郎原作「流」を、十年生の演劇部として、演じた。...

活舞台に微笑む

雪の猛者スキーヤー

ゲレンデースキー部のスケデュル

スキー部は、冬の季節に、活舞台に微笑む。雪の猛者スキーヤー、ゲレンデースキー部のスケデュルが発表された。...

一時中止となった

経済學研究會再興

各セミナール員中心となり

経済學研究會は、一時中止となった。各セミナール員中心となり、再興の動きが起きている。...

歸朝後の第一聲

多々の感銘を與へた

中村教授の講演會

中村教授の講演會は、歸朝後の第一聲として、多々の感銘を與へた。...

聖地巡講講演會

聖地巡講講演會は、聖地巡講の講演會として、開催された。...

本校小林教授の出品

断然異彩を放つた

札幌映画新人會主催

本校小林教授の出品は、断然異彩を放つた。札幌映画新人會主催の出品として、注目を集めた。...

時代の潮流に乗って

満蒙研究會設置されん

年内に其の實現を見るか?

満蒙研究會は、時代の潮流に乗って、年内に其の實現を見るか? 設置される見込みがある。...

失業問題と人口問題

社會政策會議から

歸つた或る日の三十分

社會政策會議から、失業問題と人口問題について、歸つた或る日の三十分の議論が行われた。...

小林教授ゼミナール

近代劇とシネマ

英文學の研究

小林教授ゼミナールの近代劇とシネマに関する英文學の研究が発表された。...

指導研究室

指導研究室は、指導に関する研究を行う研究室として、設置された。...

小樽高等商業學校教授

菊判 三百五十頁

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

國貨貿易政策思想史研究の概要と内容について説明されている。...

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

國貨貿易政策思想史研究の出版情報と購入方法が記載されている。...

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

國貨貿易政策思想史研究の最終的な出版情報と連絡先が記載されている。...

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究

小樽高等商業學校教授

學士手塚壽郎著 定價金貳圓五拾錢

國貨貿易政策思想史研究



中村和之雄

ベルギー 思ひ出の一片

ベルギーの歴史、文化、風景に関する文章。ベルギーの歴史は、中世から現代まで、常にヨーロッパの歴史と密接に関連している。その文化は、芸術、文学、音楽の面で非常に豊かである。また、その風景は、美しい田舎風景と雄大な都市風景が共存している。

恐慌裡の文藝観

加藤 政治

文藝観は、社会の状況や個人の心境によって変化する。恐慌的な状況下では、文藝は単なる娯楽ではなく、社会の現実を反映し、人々の心を慰め、希望を与える役割を果たす。加藤政治は、この視点から文藝の重要性を論じている。

滿洲瞥見記(二)

教授 卜部岩太郎



この写真は、滿洲の風景を捉えている。土地は豊かであり、人々の生活も安定しているように見える。しかし、背後には日本の勢力が広がっているという複雑な状況が存在する。



この建物は、日本の伝統的な建築様式を代表している。その荘厳な外観からは、長い歴史と文化の蓄積が感じられる。これは、日本の文化遺産の一部である。

南教授を圍んで

在京六期生の集ひ

南教授の講義は、学生たちに大きな影響を与えた。在京六期生は、この機会に集まり、南教授の教えを語り合っている。彼らは、南教授の厳格な指導と熱心な授業を懐かしんでいる。

關西昭和七年會

支部誕生

關西の有志者たちが、昭和七年に集まり、支部を設立した。これは、地域の発展と文化の向上を目指すための重要なステップである。支部の誕生は、多くの人々の期待を集めている。

新報

新報の発行は、読者たちに最新のニュースと情報を提供している。この新報は、社会の動向や政治の状況について詳しく報道しており、多くの人々に読まれている。